

法 学 研 究 科

法律学専攻

1. 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成、並びに、この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では、研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ、研究者養成とともに、法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

法律学専攻

本課程では、法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し、社会に送り出すために、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

【博士前期課程】

1. 専攻分野に関する高度な専門知識を修得し、使いこなす能力
2. 研究課題の問題状況を正確に理解した上で、関係資料を幅広く分析し、独創性・構成力等の点で、ある程度の研究能力を示す修士論文またはリサーチペーパーを作成する能力

【博士後期課程】

1. 専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え、その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し、自らそれを解決・展開する能力
2. 研究課題についての学界の到達点を踏まえて、独創的な視点に基づいて高度の分析力・構成力を発揮し、専門的研究として評価しうる博士論文を作成する能力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

法律学専攻

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などや、グローバル化や環境問題についても研究教育をおこなうよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り、専攻科目の研究への移行を助け、高度な法的能力および政治的分析力の涵養を目指し、また、社会人については、社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて、専門的視点および分析力の深化を目指す専門科目を置く。

【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら、既存の法秩序や政治の枠を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置き、また、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を涵養する専門科目を置く。

法学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【標準修業年限（2年）修了予定者】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2対象
・選択必修科目	2		M2対象、指導教員と協議の上、「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
・選択科目	24		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			履修を希望する場合は、履修上の注意に従い手続きをすること
研究指導（必修）		4	M1・M2対象、単位なし、在学中每学期履修登録される4科目以上合格すること
修士論文／リサーチペーパー(注)			必要な研究指導を受けた上、修士論文／リサーチペーパーの審査および試験に合格すること (修士論文又はリサーチペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文／リサーチペーパー」を履修登録すること)

(注)専門職社会人養成コース入試による入学者は、リサーチペーパーのみ提出することができる。

【早期修了予定者】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			履修を希望する場合は、履修上の注意に従い手続きをすること
研究指導（必修）		2	M1対象、単位なし、在学中每学期履修登録される2科目以上合格すること ただし、早期修了者については、在学しない学期分は免除される
修士論文／リサーチペーパー(注)			必要な研究指導を受けた上、修士論文／リサーチペーパーの審査および試験に合格すること (修士論文又はリサーチペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文／リサーチペーパー」を履修登録すること)

(注)専門職社会人養成コース入試による入学者は、リサーチペーパーのみ提出することができる。

【研究指導スケジュール】

4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士前期課程）における研究指導スケジュール（2年修了予定者、または早期修了予定者）」、および②「修士論文及びリサーチペーパーの作成・提出要領」を参照のこと。

【修士論文審査基準】

修士学位論文の位置づけと評価基準

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 修士の学位は、博士前期課程における履修と研鑽を通じて、専門的研究者としての能力水準をある程度具え、それが提出論文に充分反映されている場合に、これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また、この学位は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくのに必要な能力をある程度具えていると思料される場合に、これを授与するものとする。
2. 修士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

【リサーチペーパーの提出要件および審査基準】

提出要件

博士前期課程の学生は、指導教授の承諾を得た上で、修士論文に代えてリサーチペーパーを提出することができる。

リサーチペーパーとして受理されるためには下記の要件を充足する必要があり、その審査も下記の要件を踏まえた観点から実施される。また、リサーチペーパー提出にかかる一連の取扱いは、「法学研究科法律学専攻博士前期課程の履修等に関する申し合わせ」の関連規定によるものとする。

なお、リサーチペーパーを提出した者は、本研究科博士後期課程入試において、筆記試験の免除を受けることはできない。

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出されたリサーチペーパーを次の水準及び審査項目について審査する。

審査基準

1. 特定の研究課題に沿った問題の所在が明確にされ、学説、判例、実務ないし実例等の検討がなされ、十分ではないものの自説の展開がなされていること。
2. 特定の研究課題を論じるにあたって必須と思われる基本的な文献が引照されていること。
3. 外国語文献を参照することが望ましいが、比較法的な検討は必ずしも要しないこと。
4. 形式的には、一般的な論文の体裁により作成され、少なくとも1万字を超えていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅰ			2
比較法研究Ⅱ			2
E U法研究			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
政治学研究Ⅲ			2
GENDER AND POLITICS 1			2
GENDER AND POLITICS 2			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅰ			2
刑法研究Ⅱ			2
刑法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅳ			2
刑法研究Ⅴ			2
刑法研究Ⅵ			2
刑事訴訟法研究Ⅰ			2
刑事訴訟法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ-A			1
労働法研究Ⅰ-B			1
労働法研究Ⅱ-A			1
労働法研究Ⅱ-B			1
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2
環境法研究Ⅴ			2
環境法研究Ⅵ			2
環境法研究Ⅶ			2
環境法研究Ⅷ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)特殊講義(警察活動と法実務) ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS ※注2			1
(他)租税法Ⅰ ※注2			2
(他)租税法Ⅱ ※注2			2
(他)知的財産権法Ⅰ ※注2			2
(他)知的財産権法Ⅱ ※注2			2
(他)環境法政策 ※注2			2
(他)環境訴訟 ※注2			2
(他)ビジネス法務演習 ※注2			2
(他)国際経済学研究1 ※注3			2
(他)国際経済学研究2 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ) ※注3			2
(他)国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ) ※注3			2
(他)対外政策研究1 ※注3			2
(他)対外政策研究2 ※注3			2
(他)比較政治学研究1 ※注3			2
(他)比較政治学研究2 ※注3			2
(他)INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注4			2
(他)SOVEREIGNTY、NATIONHOOD、LIBERALISM ※注4			2
(他)COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他)DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注4			2
(他)GLOBAL POLITICS ※注4			4

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ ※注5			2
(他)分野横断研究法：原理と技法 ※注6			2
(他)経営管理論特講Ⅰ ※注7			2
(他)財務会計論特講Ⅰ ※注7			2
(他)CORPORATE FINANCE ※注8			4
(他)応用計量経済学特講 ※注8			2
(他)環境経済学特講 ※注8			2
(他)国際環境法 ※注9			2

※注1：早期修了予定者のみ対象

※注2：法曹養成専攻開講科目(詳細は法科大学院履修要綱参照、授業日程・履修中止期間が異なるため、開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること)

※注3：国際関係論専攻開講科目

※注4：グローバル社会専攻開講科目(詳細は2026 ENGLISH-TAUGHT GRADUATE PROGRAMS-Graduate Program in Global Studiesの頁を参照)

※注5：新聞学専攻開講科目

※注6：神学専攻開講科目

※注7：経営学専攻開講科目

※注8：経済学専攻開講科目

※注9：地球環境学専攻開講科目

上記※3、5～9の詳細は、各専攻の履修要覧を確認すること

3. 履修上の注意

【標準修業年限（2年）修了予定者】

（9月修了予定者は4月3日までに法律学専攻事務室に申し出ること。）

1. 「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い、指導教員の指示がある場合は、学期末に研究報告書を提出すること。
2. 2年次の秋学期においては、指導教員と協議の上、「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。修士論文又はリサーチペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文／リサーチペーパー」を履修登録すること。
3. 「前期論文演習」の履修登録を予定する者は、2年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。
4. 「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し、「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチペーパーを提出すること。ただし、「前期論文演習」履修登録者であっても、指導教員の承認を得て、リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。
5. 専門職社会人養成コース入試による入学者は、リサーチペーパーのみ提出することができる。
6. 修士論文、又はリサーチペーパーを提出した者は、2年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。
7. 「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」、又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の6単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」「前期論文演習」について、原則は学期に2単位、順番どおりに履修する必要があるが、休学や留学等で復学した後の履修順序については指導教員と相談して決めること。
8. 「研究指導」「課題研究」「前期研究演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「前期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
9. 「研究指導」を在学中、每学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
10. 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位（1学期1単位）まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。
なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。
11. 「（他）分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2026年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目）について
本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位数に算入される。
定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2026年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.ガイド33を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできないので注意すること。なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。
12. 「2. 授業科目の編成・単位」に記載されていない法曹養成専攻科目（自研究科他専攻科目）の履修を希望する場合は、指導教員に相談したうえで下記願書を法律学専攻事務室に提出すること。

「法曹養成専攻科目履修許可願」

宛名：法科大学院長

願書に記載する項目：①日付②所属③学生番号④氏名⑤履修希望科目（登録コード、科目名、単位数、開講期、時間割、担当教員名・担当教員許可署名・押印）⑥履修希望理由⑦指導教員署名・押印

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

【早期修了予定者】

1. 上智大学大学院学則第21条第3項に規定する1年間の在学期間（早期修了）を希望する者は、指導教員の承認を得て、1年次4月3日までに、「早期修了申請書」（*所定用紙）を法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。なお、本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は、早期修了を希望することができない。同項に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価のGPAが3.4以上であり、修士論文又はリサーチペーパーが審査委員会によってB以上と評価された者とする。
2. 1年次春学期に「前期研究演習Ⅰ」の履修登録を行い、指導教員の指示がある場合は、学期末に研究報告書を提出すること。
3. 1年次秋学期に「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行い、学期末に修士論文又はリサーチペーパーを提出すること。修士論文又はリサーチペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文／リサーチペーパー」を履修登録すること。
4. 専門職社会人養成コース入試による入学者は、リサーチペーパーのみ提出することができる。

5. 修士論文又はリサーチペーパーを提出した者は、1年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。
6. 「前期研究演習Ⅰ」「前期研究演習Ⅱ」の4単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
7. 「研究指導」「課題研究」「前期研究演習Ⅰ・Ⅱ」は、指導教員の科目を履修すること。
8. 8)「研究指導」を在学中、毎学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
9. 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、2026年11月9日～11月20日の期間（修士論文/リサーチペーパー題目提出期間）に、「早期修了取消届出書」（*所定用紙）を、法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限（2年）修了予定者に準ずる。
10. 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位（1学期1単位）まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。
 なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。
11. 「(他)分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講 2026年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目）について
 本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。
 定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2026年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.ガイド33を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできないので注意すること。なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。
12. 「2. 授業科目の編成・単位」に記載されていない法曹養成専攻科目（自研究科他専攻科目）の履修を希望する場合は、指導教員に相談したうえで下記願書を法律学専攻事務室に提出すること。
 「法曹養成専攻科目履修許可願」
 宛名：法科大学院長
 願書に記載する項目：①日付②所属③学生番号④氏名⑤履修希望科目（登録コード、科目名、単位数、開講期、時間割、担当教員名・担当教員許可署名・押印）⑥履修希望理由⑦指導教員署名・押印

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

4. 開講科目一覧表[法律学専攻_博士前期課程]

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバリング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備考
<必修科目>							
MLLW1146	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	上田 健介		M1早期修了予定者対象
MLLW1148	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	照沼 亮介		M1早期修了予定者対象
MLLW1114	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	安西 明子		M1早期修了予定者対象
MLLW1156	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	阿部 和文		M1早期修了予定者対象
MLLW1129	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	羽生 香織		M1早期修了予定者対象
MLLW1108	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	三浦 まり		M1早期修了予定者対象
MLLW1162	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	白石 友行		M1早期修了予定者対象
MLLW1142	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	越智 敏裕		M1早期修了予定者対象
MLLW1155	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	土田 亮		M1早期修了予定者対象
MLLW1118	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	駒田 泰士		M1早期修了予定者対象
MLLW1158	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	石井 由梨佳		M1早期修了予定者対象
MLLW1102	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	松本 尚子		M1早期修了予定者対象
MLLW1346	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	上田 健介		M1対象
MLLW1348	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	照沼 亮介		M1対象
MLLW1314	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	安西 明子		M1対象
MLLW1356	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	阿部 和文		M1対象
MLLW1329	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	羽生 香織		M1対象
MLLW1308	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	三浦 まり		M1対象
MLLW1362	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	白石 友行		M1対象
MLLW1342	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	越智 敏裕		M1対象
MLLW1355	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	土田 亮		M1対象
MLLW1318	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	駒田 泰士		M1対象
MLLW1358	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	石井 由梨佳		M1対象
MLLW1302	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	松本 尚子		M1対象
MLLW1423	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	富永 晃一		M2対象
MLLW1443	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	上田 健介		M2対象
MLLW1427	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	筑紫 圭一		M2対象
MLLW1430	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	梅村 悠		M2対象
MLLW1444	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	善塔 章夫		M2対象
MLLW1436	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	北村 喜宣		M2対象
MLLW1450	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	永下 泰之		M2対象
MLLW1445	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	照沼 亮介		M2対象
MLLW1404	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601-41m00	2	江藤 淳一		M2対象
MLLW9020	秋	修士論文／リサーチペーパー	LAW699-41m00	0	法律学専攻各指導教員		M2 (M1早期修了予定者含む) 対象
MLLW9021	春	修士論文／リサーチペーパー	LAW699-41m00	0	法律学専攻各指導教員		M2 (9月修了予定者) 対象
<選択必修科目>							
MLLW1523	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	富永 晃一		M2対象
MLLW1543	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	上田 健介		M2対象
MLLW1527	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	筑紫 圭一		M2対象
MLLW1530	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	梅村 悠		M2対象
MLLW1544	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	善塔 章夫		M2対象
MLLW1536	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	北村 喜宣		M2対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MLLW1550	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	永下 泰之		M2対象
MLLW1545	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	照沼 亮介		M2対象
MLLW1504	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602-41m00	2	江藤 淳一		M2対象
MLLW1627	秋	前期論文演習	LAW603-41m00	2	筑紫 圭一		M2対象
<選択科目>※重複履修可(他専攻開講科目については、各専攻に確認すること)							
MLLW7740	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象、△履修登録希望者がいる場合、春学期開講
MLLW7750	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象、△履修登録希望者がいる場合、秋学期開講
MLLW7010	春	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR501-41m00	2	奥田 純一郎		隔年開講
MLLW7020	休講	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR502-41m00	2			隔年開講
MLLW7030	春	西洋法制史研究Ⅰ(ヨーロッパ近世・近代史)	JUR503-41m00	2	松本 尚子		隔年開講
MLLW7040	休講	西洋法制史研究Ⅱ(ヨーロッパ現代史)	JUR504-41m00	2			隔年開講
MLLW7070	春	外国法研究Ⅲ(ドイツ法文献講読)	JUR506-41m00	2	松本 尚子		
MLLW7081	休講	比較法研究Ⅰ(比較法関連文献講読)	JUR508-41m00	2			隔年開講
MLLW7090	秋	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR507-41m00	2	東 史彦		隔年開講
MLLW7051	春	EU法研究(現代ヨーロッパ法関連文献講読)	JUR509-41m00	2	東 史彦		
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL501-41m00	2	上田 健介		
MLLW7110	秋	憲法研究Ⅱ(憲法解釈理論)	PBL502-41m00	2	上田 健介		
MLLW7790	春	憲法研究Ⅲ(憲法判例研究)	PBL503-41m00	2	巻 美矢紀		
MLLW7120	休講	憲法研究Ⅳ(憲法理論研究)	PBL504-41m00	2			
MLLW7130	春	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL505-41m00	2	阿部 和文		
MLLW7140	秋	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL506-41m00	2	阿部 和文		
MLLW7150	休講	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL507-41m00	2			
MLLW7160	秋	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL508-41m00	2	小舟 賢		
MLLW7170	秋	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL509-41m00	2	大橋 真由美		
MLLW7180	休講	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL510-41m00	2			
MLLW7191	春	政治学研究Ⅰ(政治経済文献講読)	POL507-41m00	2	加藤 浩三		
MLLW7201	秋	政治学研究Ⅱ(リサーチデザイン)	POL508-41m00	2	加藤 浩三		
MLLW7202	秋	政治学研究Ⅲ(グローバル・ガバナンス論)	POL513-41m00	2	岡部 みどり		
MLLW7211	春	GENDER AND POLITICS 1	POL509-41e00	2	MIURA Mari	○	
MLLW7221	秋	GENDER AND POLITICS 2	POL510-41e00	2	MIURA Mari	○	
MLLW7250	春	民法研究Ⅰ(民法に関連する近時の法改正の論点Ⅰ)	CVL501-41m00	2	小山 泰史		
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ(民法に関連する近時の法改正の論点Ⅱ)	CVL502-41m00	2	小山 泰史		
MLLW7270	春	民法研究Ⅲ(民事法の諸課題Ⅰ)	CVL503-41m00	2	宮澤 俊昭		
MLLW7280	秋	民法研究Ⅳ(民事法の諸課題Ⅱ)	CVL504-41m00	2	宮澤 俊昭		
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ(民法の諸問題Ⅰ)	CVL505-41m00	2	白石 友行		
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ(民法の諸問題Ⅱ)	CVL506-41m00	2	白石 友行		
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ(民法学の諸問題Ⅰ)	CVL507-41m00	2	善塔 章夫		
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ(民法学の諸問題Ⅱ)	CVL508-41m00	2	善塔 章夫		
MLLW7330	春	民法研究Ⅸ(損害賠償法の基礎理論)	CVL509-41m00	2	永下 泰之		
MLLW7340	春	民法研究Ⅹ(家族法の諸問題)	CVL510-41m00	2	羽生 香織		
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ(会社法判例研究)	CML501-41m00	2	土田 亮		
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ(コーポレート・ガバナンス研究)	CML502-41m00	2	土田 亮		
MLLW7370	春	商法研究Ⅲ(商事法・判例研究Ⅰ)	CML503-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7380	休講	商法研究Ⅳ(商事法・判例研究Ⅱ)	CML504-41m00	2			
MLLW7820	秋	商法研究Ⅴ(会社法判例研究)	CML505-41m00	2	深澤 泰弘		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MLLW7830	春	商法研究Ⅵ(保険法判例研究)	CML506-41m00	2	深澤 泰弘		
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ(商事法・判例研究Ⅲ)	CML507-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7390	春	民事訴訟法研究Ⅰ(民事手続法の理論研究)	CPL501-41m00	2	田頭 章一		
MLLW7400	春	民事訴訟法研究Ⅱ(民事手続法の判例研究)	CPL502-41m00	2	岡庭 幹司		
MLLW7410	秋	民事訴訟法研究Ⅲ(民事訴訟・家事手続・執行手続の理論研究)	CPL503-41m00	2	安西 明子		
MLLW7920	春	刑法研究Ⅰ(刑法における重要判例の検討①)	CRL501-41m00	2	佐藤 結美		
MLLW7930	秋	刑法研究Ⅱ(刑法における重要判例の検討②)	CRL502-41m00	2	佐藤 結美		
MLLW7940	春	刑法研究Ⅲ(刑法理論の検討)	CRL503-41m00	2	伊藤 渉		
MLLW7950	秋	刑法研究Ⅳ(現代社会における刑法の機能)	CRL504-41m00	2	伊藤 渉		
MLLW7960	春	刑法研究Ⅴ(重要論点の検討①)	CRL505-41m00	2	照沼 亮介		
MLLW7970	秋	刑法研究Ⅵ(重要論点の検討②)	CRL506-41m00	2	照沼 亮介		
MLLW7980	春	刑事訴訟法研究Ⅰ(刑事手続法の理論と政策)	CRL507-41m00	2	岩下 雅充		
MLLW7990	秋	刑事訴訟法研究Ⅱ(刑事手続法判例研究)	CRL508-41m00	2	岩下 雅充		
MLLW7441	春	労働法研究Ⅰ-A(雇用関係法)	SCL509-41m00	1	永野 仁美		隔週開講、(旧)労働法研究Ⅰ
MLLW7442	春	労働法研究Ⅰ-B(雇用関係法)	SCL510-41m00	1	富永 晃一、永野 仁美		隔週開講、(旧)労働法研究Ⅰ
MLLW7451	休講	労働法研究Ⅱ-A(労使関係法)	SCL511-41m00	1			隔週開講、(旧)労働法研究Ⅱ
MLLW7452	休講	労働法研究Ⅱ-B(労使関係法)	SCL512-41m00	1			隔週開講、(旧)労働法研究Ⅱ
MLLW7460	春	経済法研究Ⅰ(独占禁止法理論研究)	SCL503-41m00	2	丁 宇		
MLLW7470	秋	経済法研究Ⅱ(独占禁止法判例研究)	SCL504-41m00	2	丁 宇		
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL505-41m00	2	駒田 泰士		
MLLW7490	秋	知的財産権法研究Ⅱ(特許・商標法)	SCL506-41m00	2	駒田 泰士		
MLLW7660	休講	社会保障法研究Ⅰ(社会保障法政策研究)	SCL507-41m00	2			
MLLW7670	秋	社会保障法研究Ⅱ(社会保障法判例研究)	SCL508-41m00	2	永野 仁美		
MLLW7500	休講	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL501-41m00	2			
MLLW7510	休講	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL502-41m00	2			
MLLW7520	春	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL503-41m00	2	石井 由梨佳		
MLLW7530	秋	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL504-41m00	2	石井 由梨佳		
MLLW7780	秋	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL507-41m00	2	堀口 健夫		
MLLW7800	春	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL508-41m00	2	堀口 健夫		
MLLW7560	春	国際経済法研究Ⅰ(国際経済法の基本枠組み)	INL505-41m00	2	川瀬 剛志		
MLLW7570	秋	国際経済法研究Ⅱ(国際経済判例研究)	INL506-41m00	2	川瀬 剛志		
MLLW7600	春	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法)	PIL501-41m00	2	村上 愛		
MLLW7610	秋	国際私法研究Ⅱ(比較国際民事訴訟法)	PIL502-41m00	2	村上 愛		
MLLW7630	休講	国際取引法研究Ⅰ(国際取引法文献講読1)	PIL503-41m00	2			
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ(国際取引法文献講読2)	PIL504-41m00	2	森下 哲朗		
MLLW7680	休講	環境法研究Ⅰ(住生活環境法研究)	ENL501-41m00	2			
MLLW7690	春	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL502-41m00	2	北村 喜宣		
MLLW7700	春	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL503-41m00	2	桑原 勇進		
MLLW7710	休講	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL504-41m00	2			
MLLW7720	春	環境法研究Ⅴ(環境法事例研究)	ENL505-41m00	2	越智 敏裕		
MLLW7730	休講	環境法研究Ⅵ(環境判例研究)	ENL506-41m00	2			
MLLW7890	秋	環境法研究Ⅶ(環境法事例研究)	ENL507-41m00	2	筑紫 圭一		
MLLW7891	休講	環境法研究Ⅷ(環境法文献講読)	ENL508-41m00	2			

他専攻開講科目(自専攻開講科目扱い)については、2. 授業科目の編成・単位の項目に記載

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW599-41m00	安西 明子	
	富永 晃一	
	上田 健介	
	北村 喜宣	
	筑紫 圭一	
	梅村 悠	
	善塔 章夫	
	永下 泰之	
	照沼 亮介	
	江藤 淳一	
	阿部 和文	
	羽生 香織	
	三浦 まり	
	白石 友行	
	越智 敏裕	
	土田 亮	
	駒田 泰土	
	石井 由梨佳	
松本 尚子		

法学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【2026年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└後期法学政治学特殊講義Ⅰ	2		D1対象
└後期論文演習Ⅰ	2		D1対象
└後期法学政治学特殊講義Ⅱ	2		D2対象
└後期論文演習Ⅱ	2		D2対象
└後期法学政治学特殊講義Ⅲ	2		D3対象
└後期論文演習Ⅲ	2		D3対象
研究指導（必修）		6	D1・D2・D3対象、単位なし、在学中每学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

【2025年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	20		
授業科目			
・必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D1対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D1対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D2対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D2対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D3対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D3対象
・選択科目	8		
研究指導（必修）		6	D1・D2・D3対象、単位なし、在学中每学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士後期課程）における研究指導スケジュール」、および②「博士論文（課程博士）の作成・提出要領」を参照のこと。

【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 博士の学位は、博士後期課程において履修と研鑽を通じて、専門的研究者としての能力水準を十分に具え、それが提出論文に充分反映されている場合に、これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また、この学位は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくのに必要な能力を十分に具えていると思料される場合に、これを授与するものとする。
2. 博士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

2. 授業科目の編成・単位

【2026 年次生以降】

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<必修科目>			
後期法律学政治学特殊講義Ⅰ	2		
後期論文演習Ⅰ	2		
後期法律学政治学特殊講義Ⅱ	2		
後期論文演習Ⅱ	2		
後期法律学政治学特殊講義Ⅲ	2		
後期論文演習Ⅲ	2		

【2025 年次生以前】

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<必修科目>			
後期論文演習Ⅰ－A	2		
後期論文演習Ⅰ－B	2		
後期論文演習Ⅱ－A	2		
後期論文演習Ⅱ－B	2		
後期論文演習Ⅲ－A	2		
後期論文演習Ⅲ－B	2		
<選択科目>			
法律学政治学特殊研究Ⅰ			2
法律学政治学特殊研究Ⅱ			2
法律学政治学特殊研究Ⅲ			2
法律学政治学特殊研究Ⅳ			2
選択科目は上記4科目および法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）から履修すること（p. 法学10～p. 法学11参照）※重複履修可（他専攻開講科目については、各専攻に確認すること）			

3. 履修上の注意

【2026 年次生以降】

- 1) 「後期法律学政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「後期論文演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の履修登録を行い、かつ指導教員の指示がある場合は各年度末に研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期法律学政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「後期論文演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を含めて12単位以上を履修すること。「後期法律学政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「後期論文演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」について、原則は学期に2単位、順番どおりに履修する必要があるが、休学や留学等で復学した後の履修順序については指導教員と相談して決めること。
- 3) 「研究指導」「後期法律学政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「後期論文演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」を在学中、毎学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は、退学届を提出し、研究科委員会の承認を受けること。

【2025 年次生以前】

- 1) 「後期論文演習Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ-A・Ⅲ-B」の履修登録を行い、かつ指導教員の指示がある場合は各年度末に研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期論文演習Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ-A・Ⅲ-B」（12単位）を含めて20単位以上を履修すること。「後期論文演習Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ-A・Ⅲ-B」について、原則は学期に2単位、順番どおりに履修する必要があるが、休学や留学等で復学した後の履修順序については指導教員と相談して決めること。
- 3) 「研究指導」「後期論文演習Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ-A・Ⅲ-B」は、指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」を在学中、毎学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は、退学届を提出し、研究科委員会の承認を受けること。

4. 開講科目一覧表[法律学専攻_博士後期課程]

【2026年次生以降】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
DLLW3506	春	後期法律学政治学特殊講義 I	LAW811-41m00	2	伊藤 涉		D1対象
DLLW3606	秋	後期論文演習 I	LAW814-41m00	2	伊藤 涉		D1対象
DLLW3509	春	後期法律学政治学特殊講義 I	LAW811-41m00	2	川瀬 剛志		D1対象
DLLW3609	秋	後期論文演習 I	LAW814-41m00	2	川瀬 剛志		D1対象
DLLW3504	春	後期法律学政治学特殊講義 I	LAW811-41m00	2	三浦 まり		D1対象
DLLW3604	秋	後期論文演習 I	LAW814-41m00	2	三浦 まり		D1対象
—	休講	後期法律学政治学特殊講義 II	LAW812-41m00	2			D2対象
—	休講	後期論文演習 II	LAW815-41m00	2			D2対象
—	休講	後期法律学政治学特殊講義 III	LAW813-41m00	2			D3対象
—	休講	後期論文演習 III	LAW816-41m00	2			D3対象

【2025年次生以前】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
—	—	後期論文演習 I -A	LAW801-41m00	2			D1対象
—	—	後期論文演習 I -B	LAW802-41m00	2			D1対象
DLLW3748	春	後期論文演習 II -A	LAW803-41m00	2	北村 喜宣		D2対象
DLLW3848	秋	後期論文演習 II -B	LAW804-41m00	2	北村 喜宣		D2対象
DLLW3901	春	後期論文演習 III -A	LAW805-41m00	2	奥田 純一郎		D3対象
DLLW4001	秋	後期論文演習 III -B	LAW806-41m00	2	奥田 純一郎		D3対象
<選択科目>※重複履修可（他専攻開講科目については、各専攻に確認すること）							
選択科目は4. 開講科目一覧表[法律学専攻_博士前期課程]の頁に記載の選択科目（【課題研究】除く）より履修すること							

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW899-41m00	三浦 まり	
	川瀬 剛志	
	奥田 純一郎	
	北村 喜宣	
	伊藤 渉	